

# 都市農業センターでの 「市長とふれあいトーク」発言に対する処理方針

(開催概要)

日時：平成18年5月27日(土) 14:00～15:00

場所：都市農業センター

平成18年8月

鹿児島市 市民参画推進課

## 都市農業センターでの「市長とふれあいトーク」発言に対する処理方針

日時：平成18年5月27日（土）14：00～15：00

場所：都市農業センター

番号	発言者	発言内容	市長回答	関係部局	検討結果、今後の方針等
1	石谷町 男性	<p>旧松元町には、12の地域公民館があったが、現在活動が少なくなっています。</p> <p>また、防災無線が、地域に多くの情報を流していたが、合併後は、以前より機能していない。</p> <p>市全体の制度の統一は分かるが、地域の特性として、もう少し機能させてもよいのではないか。</p>	<p>合併協議会のなかで、旧鹿児島市の制度に統一することになった経緯はありますが、防災無線は、公共性のある情報の媒体として、引き続き活用しております。</p> <p>また、地域公民館が解散している場合は、支所が、情報提供などに対処しております。</p> <p>地域のよき伝統を守り、地域は地域が担うものであることから、合併協議の基本を守りながら、まちづくりの中で検討してまいりたい。</p>	市民局	<p>防災行政無線については、旧5町で統一的な運用を図っておりますが、地域公民館ごとの放送もこれまでどおり利用できますので、情報提供の一つの手段としてご活用いただきたいと思います。</p> <p>なお、今年度中に防災行政無線更新の全体計画を策定しますので、その中で地域特性を生かした今後の防災行政無線の活用のあり方についても検討してまいります。</p>
2	犬迫町 男性	<p>新北部清掃工場の建設にともなう覚書について、伊敷公民館でのふれあいトークでも発言させてもらったが、回答がまだです。早く回答がほしい。</p> <p>また、合併により、交通量が多くなっています。県道の拡幅など、地元の見解を入れ、前向きに検討してほしい。</p>	<p>新北部清掃工場の建設には、地元の多大な協力をいただいております。覚書は遵守しなければなりません。</p> <p>県道の整備については、機会をとらえて、私が知事と話をしております。また、市の担当課も、県の土木部や土木事務所に説明しており、今後、改めて県に要望してまいります。</p>	市民局  建設局	<p>いただきましたご意見には、できる限り早く対応し、回答するよう努めておりますが、一定の結論を待ち回答させていただく場合もあります。</p> <p>今後、対応や回答に時間を要する場合には、経過を報告するよう努めてまいります。</p> <p>県道の整備については、機会あるごとに整備促進の要望を行っており、県知事にも要請しております。</p> <p>今後とも、早期整備が図られるよう要請してまいります。</p>



## 都市農業センターでの「市長とふれあいトーク」発言に対する処理方針

番号	発言者	発言内容	市長回答	関係部局	検討結果、今後の方針等
4	小山田町 男性	① 伊敷公民館でのふれあいトークでも発言させてもらったが、回答がまだです。早く回答がほしい。	① 回答については、できる限り早く対応しておりますが、結論を待ち回答させていただくものもあります。 その場合でも、経過を報告するよう指示してまいります。	市民局	いただきましたご意見には、できる限り早く対応し、回答するよう努めておりますが、一定の結論を待ち回答させていただく場合もあります。 今後、対応や回答に時間を要する場合には、経過を報告するよう努めてまいります。
		② 県道小山田谷山線の整備などにより、小山田川の水量が増えています。  梅雨前に点検し、川底の盛土などに対応してほしい。	② 小山田川については、本格的な梅雨に入る前に、関係部局に指示し、点検など対応してまいりますので、のちほど危険な場所を教えていただきたい。	建設局	平成18年6月9日に準用河川小山田川の現場で、小山田町の各種団体連絡協議会の事務局長と立ち会いを行いました。 現在、河川内に堆積した土砂を取り除いております。
5	小山田町 男性	① 地籍調査について、小山田地域に不明な点があります。調査を進めてほしい。	① 地籍調査は、私有地の境界などに重要で、国からの指示もあります。 現在、国が旧市域において地籍調査のための基礎的調査を年次的に行っております。	企画部	① 旧市域においては、平成16年度から、国において地籍調査の基礎的調査となる都市再生街区基本調査が行われております。  旧市域においては都市化が進み、地価水準が高く、所有権の権利意識が強いことから、調査の実施には種々の困難な面が予想されます。 結果として、調査を完結できないことも考えられるなどの問題もあるため、これまでも調査を実施してこなかったところであり、現時点で調査をすることは考えておりませんが、長期的な観点からの可能性については、研究してまいります。

## 都市農業センターでの「市長とふれあいトーク」発言に対する処理方針

番号	発言者	発言内容	市長回答	関係部局	検討結果、今後の方針等
5	小山田町 男性	② 地籍調査が進まなければ、調整区域などの問題もあり、ますます地域の過疎化が進んでしまう。 できる限り、早い時期に調査してほしい。	② 地籍調査は、多額の予算が必要であることなどから、検討が必要になることを、ご理解いただきたい。  また、調整区域については、現在、かごしま都市マスタープランをつくらうとしており、調整区域の線引きも含めて、協議してまいります。	企画部  建設局	② 5の①の「検討結果、今後の方針等」に同じ  市街化区域と市街化調整区域とに区分するいわゆる線引きや、都市計画区域の再編については、県が決定をする事項となっております。 昨年、県において「かごしまの都市計画あり方検討委員会」を設置して、県下における都市計画のあり方について検討を行っております。 今年3月下旬に、委員会の取りまとめがなされ、現在、県において鹿児島県都市計画基本方針の見直しを行っております。 本市としては、県が策定する鹿児島都市計画基本方針との整合を図りながら、都市マスタープラン策定協議会の意見等を踏まえ、都市計画の見直しをどのように進めるのか、現在検討を行っております。
6	犬迫町 男性	① 犬迫地域は、少子高齢化が進んでおり、小学生が減っています。  そのため、市営住宅の早期着工と二期工事の計画を早くたててほしい。 また、家庭菜園なども楽しめる農村型住宅をお願いしたい。  ② 犬迫地域には、遊休地がたくさんあるが、市の借り上げによる農業施策に活用ができないだろうか。  また、活用において、地域の高齢者が耕作指導を担うことにより、生きがいづくりになり、地域活性化につながると思います。	① 既存指定集落制度で、調整区域に市営住宅をつくり、地域の活性化や少子化対策を図っております。  犬迫地域には、田園風景に適した、マンション型ではない市営住宅を計画しております。  ② 協力が得られた遊休地については、市民農園などの活用を行っております。 また、県の施策でも、利用できるものがあれば活用していただきたい。  地域の方々のふれあいの場をつくっていくことが大切であると考えております。	建設局   経済局	犬迫地区には、平成18年度末から既存集落活性化住宅を10戸建設する予定です。 既存集落活性化住宅は、小学生以下の子供のいる世帯又は、若い夫婦世帯を対象とし、家庭菜園なども楽しめる木造で低層の市営住宅となっております。 二期工事の計画については、今後の入居需要等を見て判断してまいります。  遊休農地については、地域での話し合い活動のもと、認定農業者などの担い手農家への農地の流動化や農作業受委託の促進、市民農園等への活用などを進め、農地の活用を図ってまいりたいと考えております。

## 都市農業センターでの「市長とふれあいトーク」発言に対する処理方針

番号	発言者	発言内容	市長回答	関係部局	検討結果、今後の方針等
7	岡之原町 男性	<p>地域の市道がせまい。 また、大久保井堰が古くなり、ひび割れが生じているため、補修をお願いしたい。</p> <p>なお、その周辺を流れる河川工事を、県にお願いしており、県と協議しながら進めてほしい。</p>	<p>市道や井堰の補修整備と、河川工事について、より効率的に行われるよう、県と市が協議しながら対応してまいりたい。</p>	経済局 建設局	<p>大久保井堰の補修については、現場で調査を行い、井堰と隣接する用水路も併せて整理する必要があると判断いたしました。 今後、工事施工採択審査会に諮るとともに、地域の農事事務嘱託員とも協議しながら、改修の方法を検討してまいりたいと考えております。</p> <p>市道高塚栄線については、大久保町内会の会長と現地にて立会いを行い、改良の必要な箇所を確認を行いました。 今後、改良について検討してまいります。</p>
8	本名町 男性	<p>町内会の未加入者が増えています。 ごみ出しや、防犯灯、防災、福祉などの地域の問題を、加入者だけが行っています。</p> <p>市も対策を行っていますが、もう少し踏み込んで施策を行ってほしい。</p>	<p>町内会の加入者の減少は、市政課題の一つです。</p> <p>地域は、地域が担うことが重要であり、その礎となるものが、町内会の方々です。</p> <p>市の努力不足もあるので、他の都市を調査しながら、加入促進の方策を検討してまいりたい。</p>	市民局	<p>町内会は、地域住民の自主的な総意に基づき組織された任意の自治組織です。 地域性や規模により様々ですが、個人や家庭での解決が難しい地域の諸問題や課題を共同で解決し、お互いが親睦を深め、より住みよい地域をつくるため取り組んでおられます。</p> <p>鹿児島市においても、地域コミュニティの核となる町内会の活動に対して、助成制度を拡充するなどしております。 また、町内会への加入促進を図るため、次のような取り組みを行っております。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・市民のひろばや市民便利帳による加入呼びかけ</li> <li>・加入呼びかけのチラシやポスターの作成</li> <li>・窓口での転入者への配布、各町内会への提供</li> <li>・県宅建取引業協会や不動産業者への協力依頼</li> <li>・アパートやマンションの建築主への協力依頼</li> <li>・町内会の活動に対する各種補助制度の創設 など</li> </ul> <p>今後とも、地域コミュニティ活動の促進のため、町内会への加入促進に努めてまいります。</p>

## 都市農業センターでの「市長とふれあいトーク」発言に対する処理方針

番号	発言者	発言内容	市長回答	関係部局	検討結果、今後の方針等
9	石谷町 男性	<p>① 私の地域でも、町内会の未加入者が多く、深刻に思っています。今一步踏み込んだ施策を行ってほしい。</p> <p>② 旧松元町において、合併により発展するという、地域への取組みが見えてこない。</p> <p style="padding-left: 2em;">合併した地域への取組みについて、聞きたい。</p>	<p>① 加入促進の方策を検討してまいりますので、皆さんの妙案があれば、ぜひ提言していただきたい。</p> <p>② 合併後においては、速やかな一体化と均衡ある発展が重要であり、新市のまちづくり計画では、平成18年度にも事業を立ち上げ、進めております。</p> <p style="padding-left: 2em;">旧松元町においては、消防の分遣隊を新設しました。 また、県の茶業試験場跡地の活用や、市営住宅、道路の整備なども手がけてまいりたい。</p> <p style="padding-left: 2em;">合併した地域について、不便をおかしているものもありますが、皆さんと話をしながら、実状を踏まえて進めてまいりたい。</p>	<p>市民局</p> <p>企画部 市民局 建設局</p>	<p>8の「検討結果、今後の方針等」に同じ</p> <p>昨年改訂した第四次鹿児島市総合計画基本計画において、合併に伴い新たに加わった特性などを踏まえ、重点的かつ戦略的に取り組む施策として、「生かせ自然まるごと活用プラン」と「60万市民みんなのまち一体化プラン」の二つのプランを「元気創造プラン」に加えております。</p> <p>引き続き、旧市域のみならず、旧5町域の社会基盤の整備や行政サービス水準の向上を図り、新市全体が一体的に発展するまちづくりを進めることにしております。</p> <p>旧松元町地域の市営住宅としては、ガーデンヒルズ松陽台に年次計画に基づき市営住宅を建設する予定です。</p> <p>また、市道の整備については、地元からの要望等も踏まえ、交通状況や地域バランス等を考慮して計画的に整備を進めております。</p> <p>道路パトロールにより、土砂崩落、路肩崩壊などの危険箇所等の点検を行うとともに、地元住民の方々からの情報提供や要望等も踏まえ、適正な維持管理を進めており、今後も、より安全で円滑な交通が確保できるよう努めてまいります。</p>

## 都市農業センターでの「市長とふれあいトーク」発言に対する処理方針

番号	発言者	発言内容	市長回答	関係部局	検討結果、今後の方針等
10	草牟田 女性	<p>乳幼児医療の助成について、現在、1歳までが全額の助成で、1歳から6歳までは2,000円を超えた額の助成となっています。</p> <p>子供の免疫が弱くなり、病気にかかるのは、半年から3歳までの間であることから、3歳までは、全額の助成にしてほしい。</p>	<p>乳幼児医療の助成制度は、それぞれの市町村で異なっております。鹿児島市は、6歳までを助成しており、他の市町村に比べると対象が広がっております。</p> <p>この助成制度は、少子化対策のなかで、重要で効果的なものです。</p> <p>国や県に要望しながら、一体となって、この助成制度の拡充に努めてまいります。</p>	健康福祉局	<p>乳幼児医療の助成制度は、県の補助事業として、県からの補助金を財源に事業を実施しております。</p> <p>助成内容についても、基本的に県の基準に基づいておりますが、県の制度では、6歳未満の乳幼児に対し、非課税世帯は保険診療の医療費全額助成、課税世帯は自己負担額を月3,000円としているところを、鹿児島市の制度では、0歳児と非課税世帯の1歳から6歳未満の幼児は、保険診療の医療費全額助成、課税世帯の1歳から6歳未満の幼児は自己負担額を2,000円とするなど、様々な面から改善を図っております。</p> <p>現時点では、全額助成の対象年齢の拡充は考えておりませんが、乳幼児医療費助成は、少子化対策のための重要かつ効果的な施策の一つであると考えており、受給者の方々の様々なご意見をもとに、国や県に要望しながら、制度内容の一層の充実を図ってまいりたいと考えております。</p>
11	石谷町 男性	<p>私は、観光ボランティアにかかわってみたいと思い、市内の史跡などをまわっています。</p> <p>ある観光都市では、市民からアイデアを募り、まち全体で取り組んでいます。その結果、市庁舎からガソリンスタンドまで、雰囲気づくりの工夫が施されていました。</p> <p>鹿児島市でも、観光客に分かりやすい取り組みを行うべきではないでしょうか。</p> <p>例えば、鶴丸城跡に旧島津藩ののぼりをつらねて掲げたり、加治屋町の近辺などを夜に散策しても楽しめるよう、ライトアップされた大きな案内板があったりしてもよいのではないのでしょうか。</p>	<p>鹿児島市は、5年後の新幹線の全線開通を控え、都市間競争が本格化するなかで、交流人口を増やすことが課題となっております。</p> <p>そのため、「観光未来戦略」を策定し、魅力あふれる鹿児島市の創造を掲げて、施策を進めております。</p> <p>鹿児島市の人の温もりや、地理的特性などを活かしながら、取り組んでまいりますので、今後とも、ご提言をお願いいたします。</p>	経済局	<p>平成17年度末に策定しました「鹿児島市観光未来戦略」を受け、本市では様々な魅力にあふれた国際観光都市鹿児島市の創造に努めております。</p> <p>これをうけ、「歴史ロード”維新ふるさとの道”整備事業」として、加治屋町に隣接する甲突川左岸緑地やその周辺を、観光客が歴史を感じながら散策できるような空間として整備を行います。</p> <p>また、「ファンタスティックイルミネーション推進事業」では、平成17年度の中央公園・中央公民館に加え、今年度ナポリ通りのライトアップを実施するなど、昼夜を問わず、回遊性のあるまちづくりを進めます。</p> <p>それに伴い、シティビューに夜のコースを設けるなど、観光客が夜の鹿児島を楽しむことができるよう、取り組んでまいります。</p>



## 都市農業センターでの「市長とふれあいトーク」発言に対する処理方針

番号	発言者	発言内容	市長回答	関係部局	検討結果、今後の方針等
12	宇宿町 女性	① 市の観光未来戦略に、多くの市民に参加してもらえれば、よりよい意見が出るのではないかと。	① 観光未来戦略には、公募による市民の委員4人に参加していただいております。  また、計画の策定後は、地域の方々にも広く意見を伺いながら、施策を実施してまいります。	経済局	観光未来戦略に位置づけられた事業の着実な推進に向けて、目標の達成状況や施策の推進状況などを把握するために、学識経験者や観光関係団体、行政などで構成する「鹿児島市観光未来戦略推進会議」を設置することにしております。
		② 観光客が初めて目にする、鹿児島中央駅から天文館までの道路に、雑草が茂っています。 まち歩きの流行もあるため、もう少し整備した方がよいのではないかと。	② 道路の管理は、国や県と一体となって対応してまいります。	建設局	道路管理者である鹿児島県に、要望があったことを伝えてまいります。
13	犬迫町 男性	犬迫町の荒磯方面から、都市農業センター前までの道路が、狭く危険です。  昨年度に、交差点の付近は拡幅してくれたが、引き続き整備があるのだろうか。	市の担当課から回答させていただきたい。  ※ 道路建設課から電話回答(5/29) 今年度も、用地交渉を進めながら、拡幅工事を進めてまいりたいと考えておりますので、地域の皆様方のご理解とご協力をお願いしたい。	建設局	市道荒磯小山田線は、県道小山田谷山線との交差点から延長約460mの区間の拡幅整備に取り組んでおります。 平成17年度から工事に着手し、延長140mの区間が完成しております。 今後も、引き続き整備を行い、残りの区間の早期完成に努めてまいります。